

空 楽 々

「
う
き
な
い
」

2017

春



空間演出デザインコースの歩き方

ー 2 0 1 7 年度版ー

新年度が始まりました。新入生ガイダンスを聞いたもののどのよう
に大学生活を過ごしていくのか不安な新入生の方、あるいはカリキュラ
ムの変更に戸惑っている在校生の方、「空楽々」版空間演出デザイン
コースの歩き方を紹介します。



Point

年間予定を押さえる

通信教育では自分で学習計画を立て、それに沿って学習を進めて単位を積み重ねることが大切です。まずは2017年度の年間予定をきっちりと把握しましょう

今年度から学習サイクルが春夏秋冬の3ヶ月タームになりました。課題の提出期間と単位修得試験のスケジュールが変更となりますので、学習ガイドやコースガイドの「学習の進め方」で各科目の履修期間・課題提出期間を確認してください。また、スクーリング申し込みも3ヶ月に1度（年4回）となります。スクーリング申し込み案内が郵送されなくなりますので、注意してください。申込時期は学習ガイドやコースガイドの「スクーリング日程表」を参照して忘れずに申し込むようにしましょう。併せてキャンセル料も変更されていますので、学習ガイドを確認してください。

		TR	テキスト レポート科目	TW	テキスト 作品科目	WS	ウェブ スクーリング科目	TX	テキスト 特別科目	S	スクーリング科目
春期	4月		レポート提出期間 4/21(金)～4/30(日)		作品提出期間 4/11(火)～4/20(木)						追加募集申込期間 4/12(水)～開講5～30日前【必着】
	5月				作品提出期間 5/11(木)～5/20(土)		レポート提出期間 5/21(日)～5/28(日)				先行募集申込期間 5/16(火)～5/25(木)【必着】
	6月		単位修得試験 6/1(木)～6/8(木) *				最終講評期間 6/11(日)～6/18(日)				追加募集申込期間 6/7(水)～開講5～30日前【必着】
夏期	7月		レポート提出期間 7/21(金)～7/30(日)		作品提出期間 7/11(火)～7/20(木)						
	8月				作品提出期間 8/11(金・祝)～8/20(日)		レポート提出期間 8/21(月)～8/28(月)				先行募集申込期間 8/16(水)～8/25(金)【必着】
	9月		単位修得試験 9/1(金)～9/8(土) *				最終講評期間 9/11(月)～9/18(月・祝)	作品提出期間 9/11(月)～9/20(水)			追加募集申込期間 9/7(木)～開講5～30日前【必着】
秋期	10月		レポート提出期間 10/21(土)～10/30(月)		作品提出期間 10/11(水)～10/20(金)			作品提出期間 10/11(水)～10/20(金)			
	11月				作品提出期間 11/11(土)～11/20(月)		レポート提出期間 11/21(火)～11/28(火)				先行募集申込期間 11/16(木)～11/25(土)【必着】
	12月		単位修得試験 12/1(金)～12/8(土) *				最終講評期間 12/11(月)～12/18(月)				追加募集申込期間 12/7(木)～開講5～30日前【必着】
冬期	1月		レポート提出期間 1/21(日)～1/30(火)		作品提出期間 1/11(木)～1/20(土)						
	2月				作品提出期間 2/11(日)～2/20(火)		レポート提出期間 2/21(水)～2/28(水)	作品提出期間 2/11(日)～2/20(火)			
	3月		単位修得試験 3/1(木)～3/8(木) *				最終講評期間 3/11(日)～3/18(日)				

※対面(試験会場)での単位修得試験は期間中の原則土日に開催します
…現在のT科目(テキスト科目(レポート／作品))からTR科目(テキストレポート科目)に移行する一部の科目においては、移行期間として2019年度まで(予定)は上表の4月度、7月度、10月度、1月度に加え、5月度、8月度、11月度も提出期間を設けます。
各科目の提出期間については2017年度のシラバス等で確認してください。

Point

学習環境を押さえる

今年度からairUをベースとした学習環境へ変わりました

学習用 web サイト「airU」と「学生メニュー」が統合して「airU マイページ」となりました。

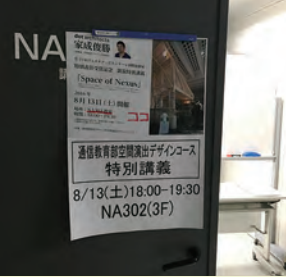
この airU マイページでは今までの課題提出や教材の閲覧の他にコース専門教育科目のシラバスの閲覧や単位修得試験の受験も可能となりました。また、スクーリングも airU マイページで申し込み可能となりました。なお、従来の「サイバーキャ

ンパス」は「airU キャンパス」へリニューアルしました。今まで通り卒業生の方も閲覧可能ですので、イベント情報や『雲母』の閲覧に活用下さい。また、本誌『空楽々』もコースサイトの「研究室だより」にバックナンバーが格納されてますので、ご覧下さい。(リニューアルしたコースサイトについては次号で紹介する予定です)

随時開講

オープンゼミ／特別講義

空デではコース主催で月一回ベースでのオープンゼミを京都・東京で開催していますので、課題への質問や学習の進め方の相談(あるいは人生相談も!?)がある方は気軽に足を運んでみてください。開催日程は『雲母』や airU キャンパスを確認してください。また、夏には PC ソフト(フォトショップやイラストレータ)の使い方の講習や、年間を通してデザイナーやアーティストを招いての特別講義も開催しています。なお、今年度の PC 相談会は京都、東京とも8/26(土)の開催を予定しています。



家成俊勝先生の特別講座 (京都)



京都・東京同日開催のドリル大学習会

春のイベント

久美浜遊学旅行

2012年から始まった「久美浜遊学旅行」では、ゴールデンウィーク中の三日間、京丹後市久美浜町にある大学施設「久美浜セミナーハウス」を借り切って学生・教員それぞれが自由な時間を過ごします。昨年度は空デ有志デザインチーム「ミカンパコ」がデザインフェスタ出展に向けて合宿を行いました。



久美浜遊学旅行：風部の記念ショット (左) 久美浜セミナーハウスからの眺望 (右)

春

4月

5月

6月

夏のイベント

全国公募展・夏の交流会

夏期スクーリング期間(8月～9月)に併せて、瓜生山キャンパスでは通信生に向けて全国公募展や瓜生山懇親会など様々なイベントを開催しています。昨年度から全国公募展に併せてアートイベント「アートマルシェ」が開催され、空デから3チームが参加しました。



アート・マルシェ (京都)



瓜生山懇親会 (京都)

夏

7月

8月

9月

秋のイベント

空デエクスカーショ

秋には「空デエクスカーショ」というイベントを関西(京都)と関東(東京)それぞれで開催しています。単なる「秋遠足」ではなく、空間演出デザインという視点を織り込んだ学外活動となるよう、教員が場所や行程を策定していますので、学友たちと学びながら楽しんでください。(事前申込制、詳細は雲母、コースサイトを参照ください)



空デエクスカーショ (東京) : 中村舞アトリエ記念館 (左) 林美美子記念館 (右)

秋

10月

11月

12月

冬のイベント

東京懇談会

京都では夏に行われる通信懇親会ですが、東京では例年12月初旬に開催されます。卒業生だけでなく在校生も参加可能ですので、思わぬ再会となる場合もあります。また、全国各地を舞台に秋から冬にかけて「秋の収穫祭」も開催されます。必ずしも空デ教員が参加する訳ではありませんが、他コース生と交流する機会となるでしょう。



東京懇親会：千住博学藝術学舎長の特別講演 (左) 第二部の懇親会 (右)

冬

1月

2月

3月

Point

周辺環境を押さえる

スクーリングで京都・東京のキャンパスを利用する場合の注意点は？

京都の瓜生山キャンパスには、キャンパス内に学生食堂やカフェ、ADストアなどの施設があるだけでなく、周囲にも画材店や多数の飲食店などがありますが、外苑キャンパス内は食事がとれる施設はなく、周囲に飲食店が少ない（日曜定休日のお店も）ため、事前に購入しておくなど、注意が必要です。外苑キャンパスの1階ロビーで空デ2015年度卒業生の片岡さんがお弁当を販売する日もありますので、airUキャンパスのお知らせやキャンパス内の掲示板を確認しておきましょう。また、外苑キャンパスでは東美・上野駅前店が画材を出張販売しています。ただし、取り扱い点数が少なく、毎日開店している訳では無いので注意してください。

京都は年間を通して宿がとりづらいので、京都でスクーリングで受ける方は早い時期から予約しておきましょう。予約が一杯でも直前にキャンセルが出る場合もありますので、こまめに空室を確認してみましょう。大学までバスを利用する方は渋滞にも注意しましょう。朝はスムーズでも夕方に渋滞に巻き込まれるケースが多々あります。叡電や地下鉄などの迂回路も事前に確認しておいた方が良いでしょう。

Point

学習契機を作る

学習意欲の継続のためには？

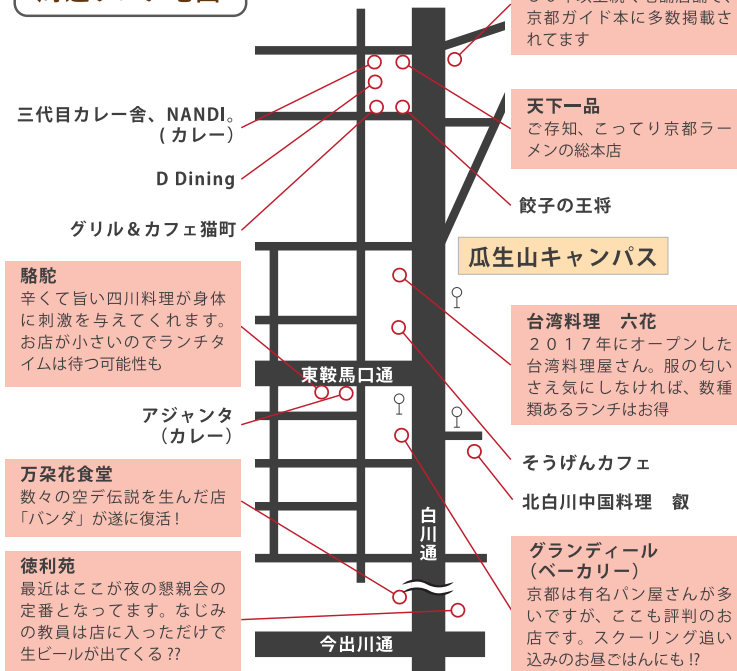
在校生のなかには学習会を立ち上げて学習のモチベーションの継続・向上を図っている方々もおられます。

専門のテキスト課題を皆で取り組むのは勿論、課題に捕われずに興味を持ったことにトライアルしてみる学習会も多数開催されています。時には学生が教える側になって教員に教えてくれる、ということも。様々な立場の方が学んでいる通信教育ならではの姿ではないでしょうか。

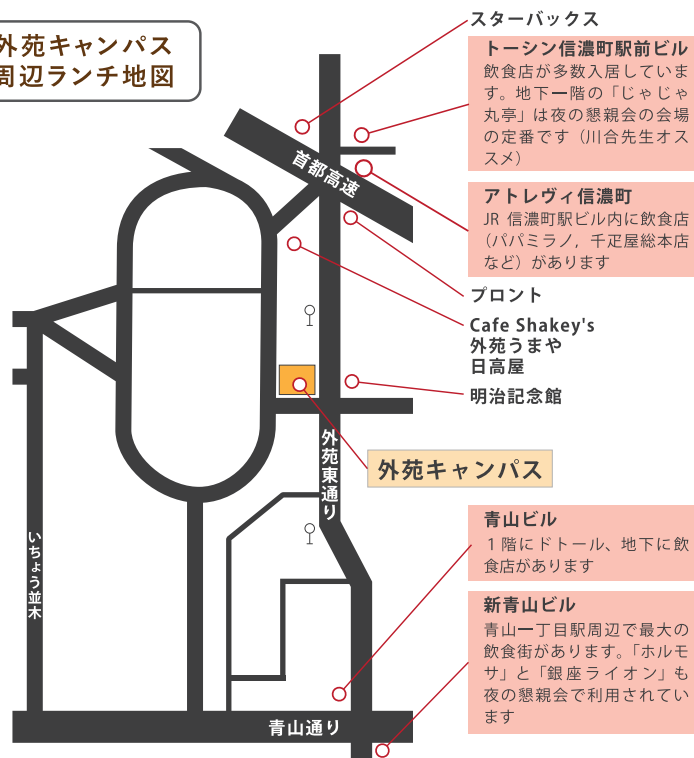


日生劇場での学習会

瓜生山キャンパス 周辺ランチ地図



外苑キャンパス 周辺ランチ地図



2016年大忘年会（京都）の一コマ



同窓会「KUDE卒部」の一コマ

Kurara Special 02



2016年度卒業・修了制作展

2016年度 冬の学内イベントから



2016年冬・特別講義（京都）

空デと言えば・・・ 食うで

折角の学生生活ですから、スクーリングなどの機会を利用して日本全国から集まる学友たちとのコミュニケーションを図りましょう。スクーリング後の懇親会には、時には教員も加わり学習以外のことや趣味が同じであるとか、昔近所に住んでいたとか、意外な接点が見つかったりするかもしれません。

去年の12月には在校生、卒業生、教員併せて70名以上が集合しての大忘年会が京都で行われました。また、6月には空デ生誕15年を記念して発足した同窓会が京都で開催され、多数の卒業生が集まりました。



2016年度
京都造形芸術大学（通信教育）
卒業・修了制作展
2017年3月12日（日）～ 19日（日）

sin-ca - ガラスリサイクルの新しいかたち-



REBIKE -バイクの分解・整列・再構築-



いずみ豊かな森プロジェクト



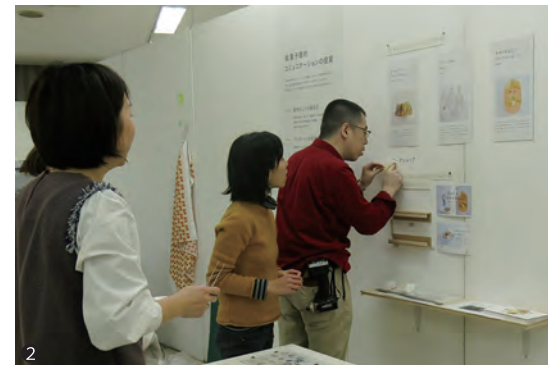
音をみる+音をさわる



Mobile Museum Idoh ~地域密着型移動式ミュージアム~



壁紙解放



- 1: 展示パネルの位置調整を手助け中の宮地先生
- 2: 壁への接着状態を確認中の寺尾先生
- 3: 上田先生も貼り付け位置を念入りに確認しています
- 4: 設置状態にアドバイスをしている出口先生
- 5: 川合先生も在校生・卒業生らと力仕事に加わりました



2016年度の卒業制作展が京都・瓜生山キャンパスで3月に開催されました。今年度の空デの開催場所は人間館1階に変更となりましたが、昨年に比べて部屋が狭くなった分、濃密な展示となりました。加えて、今年度は過去最多の作品数であるだけでなく、多様な作品が揃って見応えのある展示となり、メイン会場であるギャリル・オーブに隣接しているせいか、他コースの見学の一般の方々も多く立ち寄っていました。

空デの在校生・卒業生も会期中に多数訪れて熱心に作品を観ていましたが、それ以外に搬入日・搬出日にも作年度の卒業生が手伝いにきてくださり、学生同士の強い繋がりを感じました。

卒業制作展は、瓜生山キャンパスでの実展示は終了しましたが、web上での卒業制作展が6月末まで継続中ですので、2016年度卒業生の力作をご覧ください。

京都造形芸術大学 通信教育部
デザイン科 / Web卒業制作展
開催期間: 3月12日(日)～6月30日(金)
<http://t.kyoto-art.ac.jp/websotsuten/>

祝！学長賞受賞
—空デ 3年連続の快挙—

卒業制作展前日の午後には尾池学長による審査会が行われました。展示準備中の慌ただし状況でしたが、コース優秀賞を受賞した姜さんが作品のプレゼンテーションを行いました。この審査会で説明を受けた各コースの代表作品のなかから姜さんが学長賞に選ばれました。学長賞は、毎年芸術学科、デザイン科、芸術教養科からそれぞれ一作品が選出されますが、デザイン科では3年連続で空デからの選出となりました。



姜さんの作品「駄菓子日和」の展示風景



審査会で尾池学長へプレゼンテーション中の姜さん(左)

空デおもてなし学習会 —東京・空デ プレゼン学習会— 2017年2月18日(土)

2月に東京・外苑キャンパスにて、2016年度生を中心としたプレゼンテーションの学習会が開催されました。この学習会はプレゼンテーションスキルの向上を目的として開催され、2016年度まで1年次専門テキスト科目となっていた「巨匠の食卓」の課題作品をプレゼンテーションするというものでした。7名が発表した内容について、学生が意見交換を行った後、上田先生から講評が行われました。

スクーリングの講評会(特に卒業制作の審査)など、在学中の今後様々な場でプレゼンテーションの機会がありますので、このような学習会を通して経験を重ねて頂ければと思います。



上: ザハ・ハデッドについてプレゼンテーション中
下: 発表者・聴講者全員で記念撮影

KUDE学習会 in 滋賀県高島市 2017年2月25日(土)

2月25日、滋賀県は高島市で学習会を開催しました。当日は在校生、卒業生、そして2013年度生～2016年度生まで幅広く7名と、上田先生が参加しました。

午前中は湧き水で有名な針江かばた生水(しょうず)の郷へ。現地ガイドの方に湧き水と共に生きる集落の様子を案内してもらいました。100カ所以上湧き水が出ていて、その豊かな水量と美味しく美しい水をそこらじゅうで味わうことができます。美味しい水があるところですので、勿論、地元の酒屋さんも楽しみましたよ!

滋賀の美味しい野菜ランチを食べた後は、隣駅の近江今津へ。ヴォーリズ建築と、その1つを再生された京都造形芸術大学名誉教授大石先生を訪れました。先生が再生した旧郵便局にて、再生のこと、そこから始まった場づくりの話伺い、その後は急速、近江今津視点ノートを作る町歩きを先生と一緒に楽しみました。出来上がった視点ノートを見返すと、流石のKUDE生!!

色々な発見があります。素敵な旧郵便局、週末はオープンしていますので、是非訪れてみてください。(2013年度卒業生 水野順子:文・写真)



1: 湧き水だけでなく生えている植物も観察対象
2: 再生された郵便局
3: 大石先生を交えて記念撮影

望天館お別れセレモニー(京都) 2017年3月12日(日)

京都・瓜生山キャンパス内の望天館が改築されることとなったため、解体作業着工前日の3月12日にお別れセレモニーが開かれ、多くの教員や卒業生がセレモニーに参加しました。このセレモニーで、空デの授業も担当いただいている美術家で「建築物ウクレレ化保存計画」で知られる伊達伸明先生が望天館の解体で発生する廃材を使って「京都造形芸術大学望天館ウクレレ」を制作されることが発表されました。どのようなウクレレが出来るのか、楽しみです。



上田先生からの計画主旨の説明がありました



伊達先生から制作への想いが語られました

2016年度通信教育部 卒業式・学位授与式 —コース分科会—

2017年3月18日、瓜生山キャンパスの春秋座で京都造形芸術大学・通信教育部卒業式、大学院学位授与式が開催され、空間演出デザインコースからは26名の卒業生が卒業証書を授与しました。

春秋座で行われた卒業式では、デザイン科を代表して西村一憲さんが尾池学長から卒業証書を授与するとともに、尾池学長から卒業制作展の感想として姜幸さんの作品への感想が述べられました。

卒業式の後には各コースに別れての分科会が行われ、卒業証書と商業施設士補の資格証明書、コースからの優秀賞・奨励賞などの授与が田村先生、上田先生、廻先生、川合先生から行われました。

その後は卒業生から一言ずつ卒業の言葉をいただいた後、教員からの贈る言葉とともに空デの俳聖・川合先生からは恒例の俳句が贈られました。昨年度卒業生有志からの記念品が卒業生に贈られるというサプライズも含めて、笑い有り・涙有りの分科会となりました。改めてまして、ご卒業おめでとうございます。



1～2: 卒業証書の授与では田村先生とのハグのリクエストが多数発生しました
3: 卒業証書を代表で授与した西村さんをはじめ卒業生から様々な想いが述べられました
4～5: 田村先生ら4人の先生からの言葉の後、川合先生から句が贈られました

空間演出デザインコース特別講義2016



榎田倫之先生のプロフィール

1976年滋賀県生まれ。2003年榎田倫之建築設計事務所設立。2008年には建築設計事務所「新素材研究所」を現代美術作家杉本博司と設立。現在、榎田倫之建築設計事務所主宰、新素材研究所取締役所長、京都造形芸術大学非常勤講師。

■東京

「素材・空間」

○日時：2017年1月14日（土）

○講師：榎田 倫之 先生

東京では、今年2月にリニューアルオープンした熱海にある「MOA 美術館」や4月に銀座にオープンした商業施設「GINZA SIX」内のプレミアムラウンジなど様々な建築設計を手がけている榎田倫之先生をお招きして、MOA 美術館の事例を中心に今まで手がけてきた仕事のなかで素材がどのように活かされているかなどを講義していただきました。現在主流となっている素材は、メンテナンス・フリーであるなどの利点がありますが、その反面、画一的に見えてしまうという難点があります。そこで榎田先生は、古い素材を設計に取り込むことで価値基準の平準化を打破しようとしています。なお、それらの素材は、カタログで買わずに自分で見て購入して所有することをポリシーとしているそうです。

MOA 美術館では屋久杉、行者杉、黒漆喰、畳などの日本の伝統的な素材を用いて空間を創出したそうです。

それらの建築は、時間が経っても味が出る建築であり、施主、設計、施工者のベクトルが一致していないとなし得ないものと述べられていました。

2017年9月にオープン予定のオダワラアートファウンデーションの施設の一つとして旧測候所をリニューアルしているそうですが、これからも日本の素材の魅力を啓蒙する建築を目指していかれるとのことでした。

■京都

「伝統工芸とデザインのアンビバレント」

○日時：2017年1月21日（土）

○講師：乾 陽亮 先生

京都では、乾陽亮先生をお招きして、伝統工芸とデザインとの関わりについて、乾先生が携わった事例を交えながら講義していただきました。まずは、伝統工芸は産業であり美術工芸のような文化は有していない、という伝統工芸と美術工芸との違いや、伝統工芸の職人さんは物を作ることで自体を目的としているが、デザインは目的を叶えるための計画・理論を構築していくことなので、デザインと伝統工芸とは相性が悪いという話がありました。それを前提として、伝統工芸の形態は極限まで錬磨されて「つくること」は職人さんの聖域になっているため、その部分にはデザイナーが立ち入れらずに、デザイナーは伝統工芸そのものではなく周辺を整備すること、繋がりをデザインすることが課題の解になるのではないかとのことでした。

講義終了後の懇親会にも多数の学生が参加し、乾先生が行っている家紋研究についての話を含め、様々な話題で盛り上がりました。

なお、本講義の内容を乾先生の事務所のサイトで公開していますので、興味のある方は下記をご覧ください。

<https://speakerdeck.com/inuiyosuke/dezaintochuan-tong-gong-yun-falseanbibarensu>



乾陽亮先生のプロフィール

1976年大阪府堺生まれ。乾陽亮設計事務所主催。伝統工芸などのプロダクト、パッケージ、グラフィック、ウェブなどを統合して手掛け、ブランディングを通じて「クライアントの20年をつくるデザイン」を目指している。京都家紋研究会会員。

空楽々 編集室

Kurara Editor's Room

KUDEオープンゼミ



東京の看板は風雨にさらされた江戸の蕎麦屋のようです

オープンゼミでは、履修方法やテキスト科目、その他なんでも相談を受け付けています。気軽に相談に来てください。

■京都

日時：2017年5月27日（土）17：00～19：00

2017年6月17日（土）17：00～19：00

2017年7月15日（土）17：00～19：00

2017年8月26日（土）12：00～14：00

2017年9月9日（土）17：00～19：00

会場：瓜生山キャンパス人間館1階ラウンジ

担当教員：上田篤、他（予定）

■東京

日時：2017年5月27日（土）17：00～19：00

2017年6月17日（土）17：00～19：00

2017年7月29日（土）17：00～19：00

2017年8月26日（土）12：00～14：00

2017年9月23日（土・祝）17：00～19：00

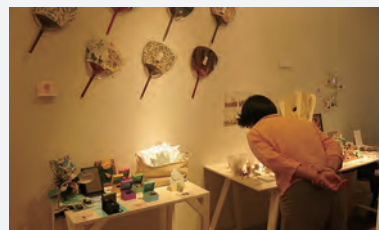
会場：東京外苑キャンパス1階エントランスホール

担当教員：川合健太、他（予定）

※事前申し込みは不要です。参加希望者は時間内に直接会場へお越しください。また、日程・会場が変更となる場合がありますので、サイバーキャンパスで事前に確認してください。

※8月はPC相談会と同時開催予定です。（京都・東京とも）

2017年通信教育部 真夏の芸術祭



昨年度の「アート・マルシェ」の一コマ

通信教育部の真夏イベントと言えば、卒業生・修了生を対象とした「全国公募展」とアートフェア「アート・マルシェ」。

今年度の公募展は応募作品に対して一次審査を行わないことになりました。また、アート・マルシェは在校生・卒業生を問わず、また個人、グループどちらでもエントリーできますので、仲間を誘って申し込んでみるのはいかがでしょうか。詳しくは『雲母』の2017年2月号、または下記のairUキャンパスの記事を確認してください。

■第7回全国公募展（2017年8月17日～8月26日開催）

応募期間：2017年7月10日（月）～7月15日（土）【必着】

応募資格：通信教育部卒業生 または 大学院（通信教育）修了生
※グループ可

募集作品数：

- 1) 作品部門 → 平面、立体などの作品
- 2) プレゼンテーション部門 → 研究、調査などの発表

出展料：無料

■アートフェア「アート・マルシェ」（2017年8月25日～8月26日開催）

応募期間：2017年7月10日（月）～7月15日（土）【必着】

応募資格：通信教育部・大学院（通信教育）の在学生、卒業生・修了生
※正科生のみ

募集作品数：10企画

出展料：無料

編集室から



- 今回の表紙は、卒業式・コース別分科会終了後の一コマです。
- 空デ生の方々にはなじみの少ない望天館だと思いますが、印刷工房、立体工房など多数の工房があり、通信・情報デザインコース生がスクーリングで使用していました。特に1階ホールでは卒業制作などの審査が行われ、厳しい審査を経て卒業生が巣立っていきました。私が情デ在学中の卒業制作着手審査の3年次スクーリングと卒業制作中間審査は望天館の1階ホールで行われ、審査の先生・聴講生併せて70名以上の前でプレゼンをしたのが懐かしい（恥ずかしい）思い出です（森）

【表紙の色 薄紅（うすべに）】

石の意思

京都の路地の角にはよく石が置かれています。クルマ除けが目的なのですが、ただでさえ細い路地の角に石を置くことで余計に通りにくくしています。いつ誰が名付けたか知りませんが「イケズ石」と呼ばれています。

イケズ石は様々な色や形があります。なかには着色されたものやセメントでがっちり固定されたもの、古い石白や石灯籠を流用したものもあって、通勤や通学の道すがらに確認しただけでも千個以上ありました。このような石は他の地域でも見かけますが、これだけ密集しているのは碁盤目状の町並みと、路上に面した民家が多い京都ならではの光景だと思います。

京都特有の事情があるにせよイケズ石が多いということは、やっぱり京都人はイケズなのでしょうか。そもそもイケズとはどんな意味でしょう。

イケズは一般的には意地悪という意味で使われておりイケズ石からもそう感じられます。しかし、入江敦彦の著書『イケズの構造』によるとイケズとは決して

意地悪でなく「相手に恥をかかさぬよう、やんわりと拒否する術」なのだそうです。西陣出身の著者が言うのだからそうなのでしょう。「一見さんお断り」や「ぶぶ漬け」の話も相手に恥をかかせない為といわれればそんな気もしてきます。

あらためてイケズ石を観察すると、軒や壁を擦ってドライバーが恥をかかないように置いていると見えなくもありません。ほかにも雨どいの出口付近に、歩行者が雨どいを踏まないよう、排水で足元を濡らさないように石を置いたり、段差の脇にも注意喚起として石が置いてあったりと、歩行者への心配りが感じられます。

真っ赤なパイロンや注意看板など、派手な色や文字で押し付けがましく伝えるのではなく（京都にも沢山あります）・・・・、景観を損なわずしかも存在感のある石によってそれとなく思いを伝えるのが、京都人のおもてなしデザインなのかもしれません。

二〇一六年度卒業生 西村 一憲

もてなし時間

